

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために



奉仕と親睦
夢と希望を持って活動しよう

国際ロータリー会長 カルヤン・パネルジー

2011~2012

富津中央RC会長 小野 恒靖

国際ロータリー 第 2790 地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2214 第6回例会 2011. 8. 18 晴

点 鐘：小野恒靖 会長

進 行：渡辺 務 副 SAA

ソング：我等の生業

お客様：第4分区ガバナー補佐 成松 薫 様

会長挨拶

小野恒靖 会長



皆さんこんにちは6回目です。今日のお客様をご紹介します。第四分区ガバナー補佐 成松 薫様です。ようこそいらっしゃいました。後ほどタッブリ卓話をお願い致します。

先週は盆休みという事で、皆さん、てんでんこに、多忙だった事と思います。私は家族旅行で佐渡ガ島に行ってきました。20年前行った、金山を家族に見せたくて、料理もうまくて、ホテルも同じにしました。万や長べい、なずけて、ホテル万長、です。2連泊です。佐渡南ロータリークラブの例会場で例会は毎週火曜日でした。2日目の朝食バイキングでの出来事です。

さじで煮物を盛ろうとした時さじの柄本が、汁で汚れていたの、ティッシュでふき、そばにいた係員に拭いた紙ですと渡そうとしたら、盆の中に入れてください、と2回いわれました。一流のホテルでの作法にびっくりした一幕でした。(ご丁寧に拭いてくださって有難う御座います、といい丁寧に、その紙を受け取る。これがシナリオの筈でした。) 金山の坑道は、きれいに舗装され、明るくとても歩きやすかったです。照明付きの説明看板も各所にあり、以前とは随分と様変わりしたものです。

会長報告

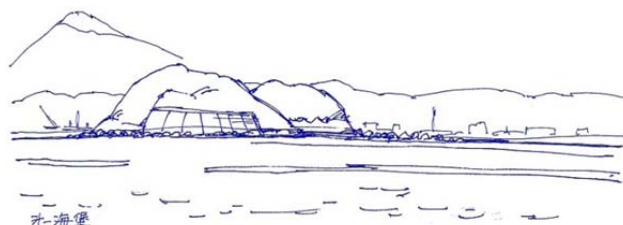
8日に、ロータリー財団地区セミナーに行ってきました。場所は千葉の京葉銀行文化プラザの6階でした。

要約致しますと、地区で利用できる、財団活動資金(DDF)は、山田 G 年度の場合、3年前の08~09年度(崎山 G)に寄付頂いた年次寄付の50パーセントが財源です。残りの50%は WF(国際財団活動資金)として、世界的規模のプロジェクトに使われます。具体的には、11~12年度は、163,677ドルが DDF 資金枠です。

使い途は次の通りです。

- ① 地区補助金(人道的社会奉仕プロジェクトを支援) 25,000ドル
- ② 国際親善奨学生(外国の大学への留学支援、3名分@26,000) 78,000ドル

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax 0439-65-3304
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~fcr>



- ③ ロータリー平和フェロシップへの寄贈(平和研究者への支援)25,000ドル
- ④ ポリオ・プラス・プログラムに寄贈(会員の負担軽減策として)30,000ドル

地区ロータリー財団委員会には、以上4つの小委員会を設けています。地区補助金の制度は、3年間の試験期間を経て、2003年7月から採用された制度で、地区内の人道的社会奉仕プロジェクトに、ロータリー財団が資金援助するという画期的のものです。対象プロジェクトの例として

- 1. 植樹 公有地を利用した植樹、公園の遊具、ベンチ、補修工具等
- 2. 車椅子の寄贈 病院、養護ホーム等不特定多数の人が利用できる施設への寄贈
- 3. 災害救援 被災地へ毛布などを寄贈遊具身障者施設等に対する遊具の設置
- 4. パソコンの贈呈 パソコンやプリンターなどを、学校や施設に贈呈する
- 5. トイレの建設 公園のトイレ等独立したもの
- 6. ネームプレートや標識 危険な道路の交通標識のようなもの

幹事報告

須藤 隆 幹事



皆さんこんにちは。先日、嘉義南区扶輪社に10月13日の当クラブの45周年記念例会へのご列席を歓迎する旨の手紙を出しました。早速返事がありまして、10月6日に台湾を出発しその日の夕刻に当クラブを訪問したいが記念例会をその日の夜にしてもらえるかとの確認でした。記念例会の日程は嘉義南の訪問に合わせてフレキシブルに考えておりましたので即座に10月6日に変更して皆さんを歓迎しますと返事をいたしました。それから数日して電話で、10月

6日の飛行機が満席のため予約が取れず、貴クラブを訪問するのを10月13日のお昼前にしたいので記念例会をその日にしてほしいとのことでした。12時例会の点鐘、12時30分から歓迎昼食会の運びになることを話して電話を切りました。詳細スケジュールはFAXするとのことです。

報告事項

- 1. ロータリー日本財団より、平成23年4月～6月までに受領した個人寄付の確定申告用領収書14人分を受領。配布
- 2. 富津RCより活動計画書並びに7月会報受領。
- 3. 回覧第2790地区クラブ奉仕委員会、広報・IT委員会より小冊子「復興への点鐘」受領。回覧
- 4. 米山梅吉記念館より「館報」、「秋季例祭開催の案内」、「賛助会員入会のお願い」を受領。回覧

理事会報告

出席者 小野、須藤、大網、原田、若鍋、大須賀、高橋、石渡、高島、山田、渡辺

- 1. 富津市主催地域防災訓練参加の件
山田社会奉仕担当部長より、富津市が主催する防災訓練にロータリーとして参加したらどうかとの提案があり、理事会に諮ったところ参加することに決定した。
- 2. 嘉義南RC来日の件
嘉義南RCが10月13日正午前に当クラブを訪問するとの連絡を受けて、その時の記念例会、姉妹提携更新契約及び歓迎会について意見交換がなされた。歓迎会については昼食歓迎会だけでなく、昼食後の接待及び2次会等についていろいろな意見が出されたが、先方の当日の詳細スケジュールを確認したうえで再度話し合うこととした。

45周年委員会

出席者 佐藤、石渡、小野、須藤、原田、志波、高島、渡辺

45周年記念奉仕事業について、本日までに各委員から提案された6件の内容についてそれぞれの提案者から説明がなされた。6件の提案を参考に次回委員会にて具体的な検討をすることとした。

ガバナー補佐挨拶

第4分区ガバナー補佐 成松 薫 様(袖ヶ浦 RC)



2011-12年度の第4分区 G 補佐の大役を仰せつかりました袖ヶ浦ロータリークラブの成松薫です。どうぞ1年間よろしくお願いを申し上げます。また本来でありますれば就任前に皆様のクラブをお伺いしご挨拶を申し上げるべきでありましたが、どうしても職務に追われお伺いすることが出来ませんでした。ここに深くお詫びを申し上げる次第であります。

第4分区は木更津クラブを筆頭に旧君津都市の伝統が受け継がれておる素晴らしい分区であると思っております。私はこの伝統ある第4分区が今年度も素晴らしいロータリー運動を展開することのお手伝いが出来れば幸いであろうと考えております。

今年度の山田ガバナーはその方針を「より強力な魅力のあるクラブに」と定め、具体的には10項目の重点目標を掲げております。

先日ある先輩ロータリアンが「今のロータリーは分からない部分が多くなってきた。」と述べられておりました。私も同じ感を持っております。もしこの「分からない部分」がR. I. や地区からの発信に起因しているとすればそれによりとまどうのは各クラブであろうと思っております。各クラブにおかれましては、もしこの「戸惑い」があるときは遠慮無くご提言いただきたいと思っております。

非力ながらもこの事を地区にお分かり頂けるよう努力をいたす積もりであります。

どうぞ1年間よろしくお願いいたします。



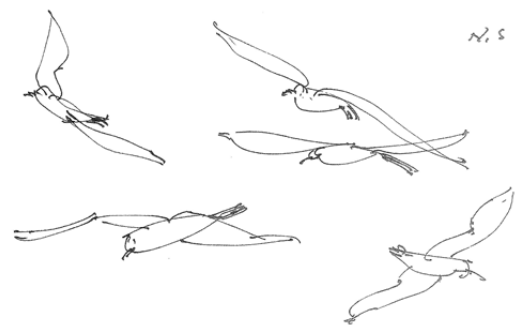
委員会報告

クラブ管理運営委員会親睦担当部

高島治雄 担当部長



8月25日は納涼夜間例会になります。先々週の案内のとおり、よろしくお願いいたします。



奉仕プロジェクト委員会社会奉仕担当部

山田昌雄 担当部長



9月25日に、富津市総合防災訓練が実施されます。今回、この訓練に当クラブとして何らかの形で参加したいと考え、理事会に提案しますので皆様の協力をよろしくお願いいたします。

活動計画発表

ロータリー財団、米山記念奨学会委員会

原田雅式 委員長



ロータリー財団は1917年アーチ・クランプが「ロータリー財団」を提案した。しかし30年間は実現されることなく、1947年ポールハリスが逝去後、全世界からポールハリスを悼み寄付が寄せられ、最初の奨学金プログラムが実現した。

ロ財団の目標は一人100米ドルとポリオに3,000円としたい。米山奨学金は通常寄付年間、4,000円のほかに一人1万円程度寄付したいと思います。

ニコニコBOX

大須賀三智男 親睦担当委員

小野恒靖 ガバナー補佐をお迎えて

*成松 薫G補佐 一年間よろしくお願ひします

* >1,000円 合計 4,000円

出席報告

刈込一弥 出席担当部長

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	20/18	17	1		85%
前回	20/19	16	3		84.21%

マザー牧場便り

三井 進 会員



先程会長挨拶に障害者の方に関するものがありましたので、マザー牧場で関係しているお話をさせていただきます。

半年ほど前にテミルという会社から、障害者の授産施設でお菓子を作ってもらって売る、という計画に協力してもらえませんかという話がありました。

有名パティシエと有名絵本作家(画家)と授産施設の組み合わせ、我々は牛乳を提供するという話です。

現在授産施設は公的援助を受けているものの、そこで働く人たちの時給は200円～300円程度です。

今回の授産施設・木更津の「はな」では皆さんが、新聞紙でワインを入れる手提げ袋を作っていました。今回の企画は全国で第4弾。

授産施設の商品だから援助のために買う、ではなく、素敵なデザインでおいしいから買う、買ってみれば授産施設の商品だったという様にしたい。これが売れるようになって、障害者の人の時給を引き上げたいという企画です。

この企画が昨日ようやく実を結び商品の発売となりました。

商品はババロアとポルポローネ「石けりコロコロ」の2種類。

機会がありましたら、お求めはマザー牧場の売店かテミルの通販で・・・